たまねぎ (早生)

月	旬	主要作業
8	上	耕起･砕土
	中	
	下	苗床施肥 苗床消毒
9	上	ガス抜き ガス抜き
	中	
	下	○播種
#	上	
	中	育苗管理 病害虫防除
	下	本圃施肥
#	上	△定植
	中	
	下	除草△
#	上	
	中	
	下	
1	上	
	中	追肥
	下	
2	上	追肥
	中	
	下	除草
3	上	
	中	
	下	
4	上	
	中	
	下	
5	上	収穫
	中	
	下	
6	上	
	中	
	下	

栽培の要点

(育苗)

1. 品種
   貴錦　浜育
2. 苗床の選定
   保水性･排水性に優れ、日当たり良く、潅水が便利で管理しやすい所を選ぶ。たまねぎの連作地や病害発生の前歴がある圃場は使用しない。
3. 苗床面積及び播種量
   本圃10a当たり70㎡ (播き床50㎡) 、4dl準備する。
4. 苗床消毒 (バスアミドの場合)
   (1) 土塊の無いように事前に十分耕起砕土、整地しておく
   (2) 播種3週間前までに行う。
   (3) 均一に散布し、深く混和する。(20cm程度、20～40g/㎡)
   (4) 処理後ただちに散水しビニール被覆する。(7～14日)
   (5) 被覆除去後、ガス抜きを最低2回行い、混和時よりやや浅めに起こす。(1回目と2回目は2～3日あける)
   (6) 播種はガス抜き後7日以上あける。
5. 畦立･播種
   (1) 苗床例を参考に、条まきとし、条間は7～8cmとる。
   (2) 温度に敏感なため適期をのがさないようにする。適期より早播きすると極端に抽苔が増加するので注意すること。
   (3) 播種後は種子がかくれる程度の厚さに覆土し潅水する。
   (4) 乾燥防止のため敷きワラや不織布、コモがけなどを行う。
6. 育苗管理
   (1) 播種後1週間くらいで発芽を始めるので、発芽が始まったら早めに覆いを取り除く (夕方がよい)
   (2) 発芽後、立枯病予防のため薬剤散布を行う。
   (3) 本葉2～3枚の頃、密生した部分の間引きを行う。(株間1～1．5cm程度で1㎡当たり800本程度)
   (4) 苗床を乾燥させないように潅水を怠らないこと。
   (5) 機械定植する場合は曲がり苗防止や機械に適応させるため苗長が15～20cm程度おさまるよう、育苗期間中の剪定処理が必要になる。

(本圃)

1. 本圃準備
   完熟堆肥･ミネリンパワーは、定植2週間前までに施用し、たまねぎ名人は、1週間前までに施す。
2. 定植
   (1) 育苗日数55～60日とし適期定植を行う。
   (2) 適当な苗の大きさは茎葉4～5mm、草丈25cm苗重4gである。苗揃いの良いものを選んで植え付ける。
   (3) 特別大きな苗は抽苔し、小苗は球が肥大しないので植えないようにする。
   (4) 植え付け後は･十分に潅水して活着をよくする。
3. 除草
   活着後、雑草の発生までに圃場全体に散布する。
   いずれの薬剤も雑草多発前に使用しないと効果が劣るので時期を逸しないようにする。

使用時期		薬剤	使用量･散布水量	備考	注意点等
11月～12月		ゴーゴーサン細粒粒	5～6kg/10a	土壌処理剤	定植後又は生育期 (収穫60日前1回)
		ゴーゴーサン乳剤30	300～500cc 70～100L/10a	土壌処理剤	定植後 (収穫60日前1回)
春処理	2月	クロロIPC乳剤	200～300cc 70～100L/10a	土壌処理剤	活着後又は中耕後 (収穫60日前1回) 気温20℃以下の時に使用する。
	1～2月	アクチノール乳剤	100～200cc 70～100L/10a	茎葉処理剤	早春期 (収穫30日前2回) 高温期の使用は避ける。
	〃	ナブ乳剤	150～200cc 70～100L/10a	茎葉処理剤	雑草生育期 (収穫1ヶ月前2回)

4. 追肥：冬期の肥料切れは抽苔を起こす原因となるので追肥を行う。
5. 収穫：適期収穫に努め、60～70%の倒伏時に行う。

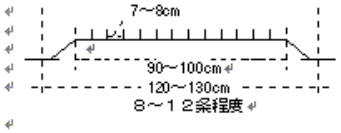
摘要

苗床施肥設計例 (苗床70㎡)

完熟たい肥	100kg
苦土石灰	7kg
固形肥料	12kg
苦土重焼燐	5kg

苗床消毒前 (耕起時) に施用
土壌分析に基づき加減する。

(苗床例)

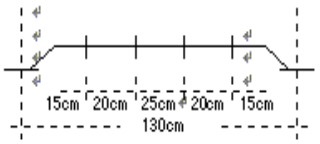


(播種期の目安)
貴錦　9月20日頃
浜育　9月20日頃

	基肥	追肥
完熟堆肥	2,000	1　2
ミネリンパワー	100	
たまねぎ名人	100	
NK化成C3号		30　30

成分表 (N－P－K)　元肥
15-19．2-15　追肥10.8-0-9.6
合計
土壌分析に基づき加減する。

(本圃例)



畦幅 130cm　株間 10cm　30,700株/10a

(雑草処理体系)
土壌処理剤散布→処理後、雑草が発生した (する) 場合茎葉処理剤散布

※貯蔵
つり玉貯蔵：充分に風乾したものを貯蔵する。
ハウス貯蔵：充分風乾したものを茎3cm以上残し切除する。
ハウスは風乾し、排水の良い場所に設置する。サイドは開ける。